

令和8年度事業計画

三丁目すまいる保育園

三丁目すまいる保育園

2026年（令和8年度） 全体的な計画

園長	下田				
----	----	--	--	--	--

法人理念	笑顔をふやす	保育理念		自分のことが好きなことも（養護）		自分のことができることも（教育）		幼児教育において 育成すべき 資質・能力							
保育目標	【自立心を育む3つの大好き】 ・かたまたを使うことが大好きな子 ・あたまを使うことが大好きな子 ・ひとと関わるのが大好きな子	令和8年度 法人テーマ	保育心得 ・時間と空間の制限を緩やかにする ・子どもの自由な挑戦を大切に ・目に見えない理由に寄り添う	令和8年度 園目標	3つのコンパス ・子どもたちの好きをみつけ、得意を伸ばす ・子どものつぶやきを拾い、ともに保育をつくる ・体験知を大切に										
年齢別目標	0歳児	・心地よい生活の中で、よく食べ（飲み）、よく寝り、よく遊ぶ。			3歳児	・自分でできる喜びを味わい、友だちと関わることを楽しむ。		①知識及び技能の基礎 ②思考力・判断力・ 表現力等の基礎							
	1歳児	・探索活動を通して聞く、見る、触れるなどの経験を、興味や好奇心をもつ。			4歳児	・意欲的に遊びや生活に取り組む中で、考えて行動する。									
	2歳児	・自己を十分に表しながら、何でも自分でやってみようとする。			5歳児	・友だちと協力しながら遊びや生活を展開し、充実感や達成感を味わう。									
保育の内容	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		幼児期の 終わりにまで 育ってほしい 10の姿		
基 礎 課 程	生命の保持	・健康や安全に配慮し、一人ひとりの生活リズムを大切に、生理的欲求を十分に満たす。		・食飲や排泄、睡眠などの適切な時間を確保し、健康的な生活が送れるようにする。		・健康で安心できる環境の中で、意欲的に生活や遊びが継続できるようにする。		・自分でしようとする気持ちを大切に、基本的な生活習慣が身につくよう見守る。		・健康で安全な生活に必要な習慣に関心を持ち、自ら行えるよう援助する。		・生活習慣を身につけて、運動遊びに意欲的に取り組み、体力の向上を図る。			
	情緒の安定	・一人ひとりの関わりを大切に、保育者との愛着や信頼関係を築く。		・自分の思いをしきや言葉で表す喜びを感じるようにする。		・自己主張を丁寧に受け止め、保育者が仲立ちとなり、友だちとの関わりを広げる。		・自分なりの言葉で表現して、友だちと遊ぶ楽しさを感じられるようにしていく。		・主体的な活動を通して自覚性を高め、自信が持てるように働きかける。		・自分の力を発揮し、社会生活に必要な力を身につけて行動できるようにする。			
	健やかに伸び伸びと育つ	・身体感覚が育ち、快適な環境に心酔よさを感じる。 ・食事、睡眠等の生活リズムの感覚が芽生える。		健康	・身の回りのことに興味を持ち、十分に体を動かして体幹が強い、感覚遊びを楽しむ。		・身の回りのことを自分からしようとする。 ・全身を使って遊んだり、散歩等戸外を十分に歩く。		・十分に体を動かしながら、様々な用具や道具を使った遊びを楽しむ。 ・必要に応じて午睡をとる。		・全身を使い、様々な道具や用具で工夫して遊ぶ。 ・生活に必要な習慣や態度を身につけようとする。			・目標をもって挑戦したり、諦めずにやり続けることで達成感を味わい、様々な生活や遊びに意欲的に取り組む。	
	身近な人と気持ちか通じ合う	・安心できる環境の中で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動きや表情、声などにより、保育者と気持ちを通わせようとする。		人間関係	・保育者を仲立ちとして、友だちとのやり取りを楽しみ、大人以外の人への関心をもつ。		・友だちと一緒に過ごす楽しさを味わい、様々な遊びを通して友だちとの関わりが深まる。		・友だちと意見を伝え合ったり、関わりを深める中で、簡単なルールを守って遊ぼうとする。		・自分の意見をもち、相手に伝える中で、相手の意見も聞いて受け入れる。			・友だちと協力する。 ・地域の人など、自分の生活に関係の深い人々に親しみをもつ。	
	身近なものと関わり感性が育つ	・見る、触れる、探索する等、身近な環境に自分から関わろうとする。 ・身体の遠近感による認識が豊かになり、表情や手足、体の動きで表現する。		環境	・身近な環境に親しみ、保育者と共に生活や遊びを楽しむ。 言語 ・保育者の応答的な関わりにより、言葉を理解し、簡単な言葉を使おうとする。		・絵本や紙芝居を楽しむ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。		・経験したことを感じたことを、自分なりの言葉で伝えようとする。		・絵本、紙芝居、お話などを通して、ストーリーや言葉のおもしろさに気づく。			・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心をもって関わる。	
教育	環境構成	・安全で快適なスペースを確保する。 ・掃除等を徹底し、清潔で衛生的な環境を維持する。		表現	・生活の中で、様々なものから刺激を受け、心ゆくまで関わることを楽しむ。		・様々な事象や出来事を通して、経験したことを自分なりに表現する。		・様々な言や色、形や手触り、動きなどに気づき、感じたことを表現する。		・美しい、作ったり遊んだりすることを楽し、遊びに使ったり、誇ったりする楽しさを味わう。		・友だちとイメージを共有し、演じて遊んだり、合奏やダンスをしたりする楽しさを味わう。		
	主な行事	慣れ保育、保育参加、井上先生ワークショップ、ウィンターフェスタ、にぶんのいち卒園式													
社会的責任		厨房と保育の一体化			異年齢保育		インクルーシブ保育		長時間にわたる保育			職員の資質向上		③言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現	
・子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりの人格を尊重した保育を行う。 ・子どもの個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情等の早期解決に努め、説明責任を果たす。 ・地域社会との交流や連携を図り、園の保育理念や方針を適切に説明し、地域に開かれた園となるよう親和性を高める。		・栄養士、調理士等、厨房スタッフと保育者が協力し、子どもたちの食育と日常の保育を統合することで、健康的な食生活の基礎を築くとともに、食に対する興味・関心をもてる。			・年齢という枠組みを超えて、互いに良い刺激を受けながら、子どもたちの成長を促す。 ・異年齢児との関わりによって、思いやりや相手を意識する気持ちなど、社会性や協調性を育む。		・全ての子どもたちが多様性を尊重されながら、安心して過ごせる環境を提供し、個々のニーズに応じた支援を行う。 ・全ての子どもたちが一緒に活動し、学び合うことで、互いの理解と絆を深める。		・子どもの発達、生活リズム、心身の状態等に配慮し、適度な運動、静かな時間、創造的な活動、遊びの時間、遊びの時間をバランスよく配置する。 ・子どもの疲れを受け止め、安心して過ごす環境を提供し、健康と安全を第一に考える。			・すまいる委員会に設置する、人権監視委員会、コンプライアンス委員会等の決議に促し、透明性の高い組織運営を行う。 ・自己評価に基づく課題を踏まえ、研修等を通じて職務内容に応じた専門性を高め、知識・技術の習得、維持・向上を図る。			